

はじめに

二〇一一年九月に、『歯科医院経営 起死回生「6つの物語」』（デンタルダイヤモンド社）を上梓いたしました。

おかげさまで反響は大きく、全国の歯科医院の院長や院長夫人、また、これからご開業される予定の若いドクターからお電話やメールをいただいたり、実際にお会いする機会に恵まれたりと、自分が思った以上に櫻木丈は必要とされているのだと実感することができました。

弊所は、ワンストップでヒト、モノ、カネに対するアドバイスができる税務・労務の合同事務所として、一九九八年にスタートしました。

この経営の3つの要素は、決して切り離すことはできません。先生方が口腔内の定期的なメンテナンスを大切にされるように、常にバランスをとるために、正確に経営の現状を把握し、将来の展望を考えていく必要があります。弊所はそのお手伝いをしてまいりました。

経営の資源はヒト、モノ、カネといわれますが、前作はそのうち、モノとカネにスポットを当てて、6つの物語ができました。

今回は、ヒトにまつわる8つの物語です。

歯科医院を開業すると経営者となりますが、開業までに「経営者」として勉強をする機会はありません。

りないのではないのでしょうか？ 勤務医時代にスタッフの採用などの人事に関わっていた、という経験をおもちの先生も、少数派ではないかと思えます。そうしたなかで、開業を決めたときから採用や労働条件の決定など、すべてを自分でやらなければならぬのです。

スタッフを雇用するにあたっては、労働基準法や労働契約法、労働者災害補償保険法、雇用保険法など、たくさんの法律が関わってきますが、開業するまで、それらを意識する機会は少なかつたのではないのでしょうか。

もちろん、それらのすべてを知らないと言えない、ということではありません。しかし、いまの世の中、経営者よりも労働者のほうがいろいろな法律に精通していますし、インターネット上には情報が溢れており、簡単に必要な情報を手に入れることもできるのです。

よく知らなかったために意図せず法律に違反していたり、損をしていた、ということもあるかもしれません。

本書では、弊所がこれまで受けてきた、たくさんの労務相談のなかでも、とくに大きな、そしてどの医院でも起こりうる問題を取り上げています。前作同様、櫻木丈と海音寺桜子が問題点を探り、解決へと導いていきます。本書が今後の歯科医院における労務管理のお役に立てば幸いです。

それでは、さっそく本文へ。